

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 1C	宇田 隆幸			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。 ・大学生生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1 クラス 20 名程度)で実施する。各クラスを教員1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
○						○	
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 1D	内田 亨			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。 ・大学生生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1 クラス 20 名程度)で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
○						○	
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 1E	上西園 武良			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。 ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1 クラス 20 名程度)で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
○						○	
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 1G	小宮山 智志			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。 ・大学生生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1 クラス 20 名程度)で実施する。各クラスを教員1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
○						○	
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 1H	佐々木 桐子			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。 ・大学生生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1 クラス 20 名程度)で実施する。各クラスを教員1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
○						○	
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナールⅡ	佐々木 宏之			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。 ・大学生生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1 クラス 20 名程度)で実施する。各クラスを教員1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
○						○	
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 1A	安藤 篤也			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。 ・大学生生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1 クラス 20 名程度)で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
○						○	
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール1J	土屋 翔			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。 ・大学生生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1クラス20名程度)で実施する。各クラスを教員1名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
○						○	
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習



科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 1K	西山 茂			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。 ・大学生生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1 クラス 20 名程度)で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
○						○	
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 1B	今井 裕紀			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。 ・大学生生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1 クラス 20 名程度)で実施する。各クラスを教員1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
○						○	
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
基礎ゼミナール 1F	小林 満男			【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。 ・大学生生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1 クラス 20 名程度)で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	
○						○	
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習